

令和3年度

事業実績報告書

施設名: 母子生活支援施設ブルーインター

事業所名	母子生活支援施設ブルーインター			職名	人数	備考
施設長・管理者名	施設長 八木正美			施設長	1名	
実施事業	母子生活支援施設			母子支援員	3名	※内1名は業務主任兼母子支援員
開設年月日	平成15年4月1日			少年指導員兼事務員	3名	※内1名は事務員
所在地	鳥取県倉吉市福守町407-14			保育士	1名	
正規職員数	5名			心理療法担当職員	1名	
準職員数	3名			調理員	1名	
契約職員数	4名(内2名パート)			宿直員	2名	※2名ともパート
定員	30世帯	実績利用者数21世帯/日	達成率 70%	計	12名	
項目	事業計画			事業実績		
1 基本方針	児童福祉法の、「全て国民は、児童が良好な環境において生まれ、かつ、社会のあらゆる分野において、児童の年齢及び発達に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮され、心身ともに健やかに育成されるように努めなければならない」の規定にのっとり、唯一母子で入所できる児童福祉施設として、児童の心身共に健全な育成を母と共に目指して、様々な事情で困難な環境に陥っている母子が、生活力と、精神力を取り戻し、自信をもって、力強く地域で自立しているように思いやりと感謝の心で支援する。					
2 運営方針	一般的・常識的な「日常」が、入所世帯の「日常」とは限らないということを念頭に置き、表面的な見方ではなく、慎重に、隠れた問題を探り、根本的な解決を目指した、思いやりで満ちた関わりを心がけることで、母子が笑顔と喜びに満ちた、本当の意味での自立が出来るよう努める。					
3 主な事業内容	(1)施設整備計画 (1)施設整備事業 屋上パラペット部防水及び通路天井補修工事 他 8,355千円			(1)施設整備実績 屋上パラペット部防水及び4F開放通路天井補修工事 他 11,943千円		
(2)事業活動	(2)事業活動 ◎お母さんと共に ・惣菜DAY ・リフレッシュ保育 (お母さんといっしょ) ・あったまろうDAY ◎子どもたちと共に ・学童保育			(2)事業活動 ◎お母さんと共に ・毎月1回×12ヶ月 一食100円で2品を提供し、家事負担を軽減することに繋がった。8割以上のご家庭が利用された。 ・毎月第4日曜日10時～16時、年間を通して実施した。母親のリフレッシュの時間を提供し、子育ての負担軽減につながった。また、子ども達の様子を確認することで、虐待防止にもつながった。コロナ感染拡大防止の為、個別(世帯)での保育を行った。 ・今年度はコロナ感染拡大予防対策の為、職員が手作りおやつ、夕食を作り、親子で楽しい夕食の場を提供した。 ・家族が一緒に過ごす時間を提供することで、家族が心通わせあたたまる時間を設けた。誕生日や高校の合格祝い、また忙しい日に利用される。子ども達が盛り付け居室で家族写真を撮影し思い出の1枚とし母子関係構築の一助となった。 ◎子どもたちと共に ・春休み、夏休み、冬休みを中心に学童保育を実施した。午前9時～午後2時まで児童を1階共有スペースで保育し、学習支援や各種行事を通して、協力することや対人関係を学ぶ場を提供した。また、午後2時～午後6時までは見守り保育を行い、児童の安全確保と信頼関係構築に繋がった。		

	<p>(セカンドステップ) (子どもクラブ) (土に親しむ会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手作りおやつ&子ども食堂 ・すずらん教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションスキルを身に付ける為に、セカンドステップも年間通して行った。 ・毎月第1土曜日に子どもクラブを実施し、子どもたちの考える場を提供した。 ・他の児童養護施設の職員及びご利用者様とサツマイモの栽培を通して交流を行い、収穫したサツマイモは様々な行事で活用し、ご利用者様・入所者様・地域の方々にも提供した。 ・子ども達の食事確保と、仕事から帰ってきた母親の家事の時間を減らし、子と関われる時間を増やしてほしいという願いから、今年度はコロナ感染症拡大防止対策として、全入所者様に手作り弁当を提供した。 ・毎月2回、手作りおやつを提供することで、児童も楽しみに帰ってくるようになり、おやつでお腹が満たされ、児童間トラブルが減った。 ・2グループに分かれて、集会室で学習支援を行った。提供したドリルや宿題に取り組む姿があり学習定着に繋がった。外部講師(アルバイト)を雇い、職員は見守りを行った。
	<p>◎施設と共に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フルインファーム ・花いっぱい運動 ・母の学び場&子の学び場 	<p>◎施設と共に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内で季節の野菜を作り、子どもたちの豊かな心を育て、収穫を一緒に分かち合った。 ・施設内外の環境維持に努めた。玄関周り、お地藏様付近のお花管理を季節に応じて行った。 ・母の学び場では、お母さんの交流の場また、外部の講師を招いて食育を学んだり様々な学びの場を提供した。 ・子の学び場では、職員と共に外部に出向き、書道教室等の様々な体験をする事ができた。
	<p>◎地域と共に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つながるプロジェクト&退所家庭への行事案内&退所時カード (地域とつながるコスモスプロジェクト) ・ブルーインター広報 	<p>◎地域と共に</p> <p>地域との交流を大切にし、子ども達と地域のごみ拾いを行ったり、民生委員・児童委員の方々と花の苗を植えるなどの交流を図った。また他法人に設置するプランターの花植を、民生委員・児童委員の方々と子どもたちが行うボランティア活動に参加した。地域とつながるコスモスプロジェクトとしては、施設周辺に子どもたちと種から育てたコスモスを植え、地域の方にも喜んでいただいた。</p> <p>今年度はコロナ感染拡大防止策として、退所家庭への行事案内は控えさせてもらったが、電話でのアフター相談や個別での相談、訪問等を実施した。退所時には何か困った時は施設や各関係機関に繋がるように連絡先を明記したカードを作成し渡す事が出来た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の措置関係機関に母子生活支援施設の理解と周知を深める為に空き状況及び施設をPRし、実績につなげることができた。また、ホームページのリニューアルにも着手した。
<p>4 安全管理・衛生管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入所時と年に2回母子の健康診断を嘱託医により実施 ・年に2回母子の尿検査等実施 ・職員の細菌検査を実施 ・職員の健康診断を年1回実施 ・安全点検のため各担当職員が各担当箇所の点検を実施 ・大型遊具の点検を実施 ・新型コロナウイルス感染症対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理簿に基づき、健康診断受診の徹底を図った。 ・声掛けを繰り返し、回収日までに提出できた。 ・調理業務に携わる職員全員を対象に毎月実施した。 ・職員の健康診断に基づき、産業医へ健康相談を行い職員へ報告した。 ・安全管理分担表に基づき、点検を実施した。 ・月に2回点検を実施した。年に1回の遊具安全点検も実施した。また、遊具点検を行った際に、指摘のあった箇所の修繕を行った。 ・新型コロナウイルス感染予防に特に注意し、マスクの着用、手洗い、消毒を徹底した。施設内に手洗い場を設置し感染防止に努めた。また補助金を活用し公用車の車両抗菌コーティング、除菌空気清浄機等を購入し施設内感染防止を図った。

5 防災・火災、救助体制	<ul style="list-style-type: none"> ・消防設備の定期点検 ・隣接する施設との合同緊急避難訓練の実施 ・施設の避難訓練は月1回の実施を徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月と2月に消防用設備等(特殊消防用設備等)点検を実施した。内1回を消防署へ提出した。 ・役割分担の確認を行う中で、ブルーインターは自施設の役割以外には、他施設から避難された方の見守りを行った。 ・避難訓練は消火訓練も含め、毎月実施した。不審者対応の訓練の際には、実際に避難放送を流して警報ボタンを押し警備会社と連携した訓練を行った。消防署にも指導を受けながら避難訓練も実施したが、母親の参加する家庭と参加しない家庭が顕著となった。
6 職員の資質の向上と研修	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修への積極的参加 ・法人内部研修への参加 ・施設内のOJT・職員研修の実施 ・資格取得の取り組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染状況を踏まえ、必要に応じ施設長を含む職員を積極的に派遣した。 ・経理研修・労務管理研修・階層別研修・Web研修等全てに参加した。また、法人内Web研修においては職員2名が講師を務めた。 ・資料有り、無しの場合検討会を実施し、支援について職員全員で実践に繋がるプランを作成した。 ・鳥取県児童福祉入所施設協議会施設間訪問研修に職員が1名参加した。 ・母子支援員会議、子担当会議に臨床心理士と基幹的職員が同席することでスーパーバイズできる体制を整え、毎月2回の会議を行い、それぞれの支援経過及び今後の支援方針を検討した。 ・4名が国家資格等を目指して勉強中。うち2名国家資格を取得した。
7 各種団体との連携と地域交流	<ul style="list-style-type: none"> ・法人行事、施設行事を通じて積極的に地域と交流 ・地域の中にある関連機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の文化祭では、施設内の伐採した樹木を用いた工作を行ない、SDGsに取り組んだ。 ・DVネットワーク会議に参加し、警察等も交えて事例の検討を行い制度の理解を深めた。児童相談所、病院、施設等と要保護児童対策地域協議会で連携することが出来た。 ・保育園・各学校行事へ参加については、コロナ感染防止対策の為、出席できないことがあった。 ・小鴨地区民生委員児童委員との交流を当施設で実施した。合同行事も計画し、一緒に花植え等を行い、地域の環境美化に取り組んだ。 ・市役所、児童相談所、各病院等とも協議する機会を多く持った。 ・保育園・各学校と定期的に情報交換を行った。 ・学童保育の行事の一環として、子ども達と近隣施設の清掃をした。

季節・年間行事

施設名：母子生活支援施設ブルーインター

実施月	行事計画	行事实績
令和3年 4月	【お母さんと共に】【子どもたちと共に】【施設と共に】 【地域と共に】の実施…年間通して随時実施、母との会、総会及び創立記念を祝う会、春休み学童保育、子どもクラブ、CaféインターGH合同	各事業の実施【あったまろうDAY・惣菜DAY・リフレッシュ保育・学童保育・セカンドステップ・すずらん教室・おやつ提供・プルインファーム・花いっぱい運動・つながるプロジェクト】 総会及び創立記念を祝う会・母との会(11日)
5月	子どもクラブ、土に親しむ会	各種事業の実施、子どもクラブ(1日)、土に親しむ会(15日)、インターGH交流会(21日)
6月	子どもクラブ、母との会	各種事業の実施、子どもクラブ(5日)
7月	子どもクラブ、夏休み学童保育	各種事業の実施、子どもクラブ(8日・10日)、母との会(7日)、始まりの会(26日)、スムージー作り(27日)、北栄砂丘畑草取り(28日)、ビー玉顕微鏡作り(30日)、打吹登山(28日)、オリジナルうどん作り(29日)
8月	母との会、子どもクラブ、コスモス配布、夏休み学童保育、CaféインターGH合同、福祉会夏祭り	各種事業の実施、SDGsについて(2日)、水鉄砲大会(2日)、習字・絵の日(3日)、海へ行こう(4日)、運動会(5日)、自由研究(6日)、手打ちうどん作り(10日)、中学生海に行く(11日)、盆前大掃除(12日)、フルーツボンチ作り(16日)、ポドゲ会(17日)、BI化学実験教室(20日)、ポップコーン作り(23日)、お楽しみ活動(24日)、北栄砂丘畑草取り(4日、11日、18日)宿題Day(2日～24日)
9月	子どもクラブ	各種事業の実施、子どもクラブ(4日)
10月	母との会、ハッピーハロウィン、子どもクラブ	各種事業の実施、子どもクラブ(2日)、土に親しむ会(23日)、母との会(25日)
11月	子どもクラブ	各種事業の実施、子どもクラブ(4・20日)、自然体験活動(3日)
12月	クリスマス会、子どもクラブ、餅つき大会、年末大掃除、冬休み学童保育、母との会	各種事業の実施、母との会(13日)保護者対象年末大掃除(18,19日)、始まりの会(23日)、宿題Day(24日～29日)、未来中心に行こう(24日)、クリスマス会(26日)、年末大掃除(27日)、e-sport(29日)
令和4年 1月	冬休みの学童保育、子どもクラブ	各種事業の実施、おにぎり&味噌玉作り(4日)、初詣(5日)、お好み焼き作り(6日)、中高生限定初詣遠足(6日)、宿題Day(4日～6日)
2月	子どもクラブ、母との会、「命の尊さを考える日」	各種事業の実施、子どもクラブ「命の尊さを考える日」(5日)、母との会(21日)
3月	子どもクラブ、春休み学童保育	各種事業の実施、子どもクラブ(5日)、宿題Day(25日～31日)、始まりの会(25日)、ホットドッグ作り(29日)、おにぎらず作り(31日)